

ツシマヤマネコ保護に関する取り組みの概要

ネコ目ネコ科 ツシマヤマネコ

(学名 *Prionailurus bengalensis euptilurus*)

絶滅危惧ⅠA類（環境省レッドリスト2012）

平成6年1月に国内希少野生動植物種に指定
国の天然記念物



1. 分布及び個体数

- ・ 長崎県対馬のみに分布。
- ・ 生息数は100頭弱（70頭又は100頭）と推定されている。
- ・ 近年は対馬下島での生息情報が途絶えていたが、平成19年3月、自動撮影カメラにより23年ぶりに生息が確認され、その後4地域で生息情報が得られている。

2. 形態及び生物学的特性

- ・ 成体の体重3～5kg、体長50～60cmで、イエネコと同じかやや大きい程度。
- ・ 体全体の斑点模様、額の縞、太く長い尾や耳裏の白斑（虎耳状斑）が特徴。
- ・ 夜行性で単独性。出産については、一回に通常1, 2頭（飼育下での平均は2頭弱）で、イエネコと比較して少産である。
- ・ もっとも重要な餌はネズミ類で、他に鳥類や昆虫類等を食べる。

3. 好適な生息地と生息を脅かす要因

- ・ 森林性で落葉広葉樹林を選好。主として谷筋や低地部を利用するが、集落周辺の田や畑も利用することが多い。
- ・ 好適生息地である落葉広葉樹林が減少した他、間伐の行われていない針葉樹植林が増加した結果、餌となるネズミ類の生息密度が低下したことに加え、河川改修や道路建設などによる生息地の分断、交通事故死が主な減少要因となっている。また、近年イエネコからの病気感染や餌資源の競合も問題となっている。
- ・ イノシシやシカによる植生の変化の影響が懸念される。

4. 主な保護対策

- ・ 生息域内における保護対策（好適生息環境の維持・再生、交通事故対策、イエネコ対策、とらばさみ対策 等）。
- ・ 生息域外における保護対策（飼育下個体群の確立、普及啓発 等） *5 参照
- ・ ツシマヤマネコと共生する地域社会の実現（普及啓発・環境教育、環境と経済の両立、行動計画づくり 等）
- ・ 関係者の横断的連携の促進、科学的知見に基づく順応的管理

5. 飼育下繁殖の実施と飼育分散 (2015 年 1 月時点)

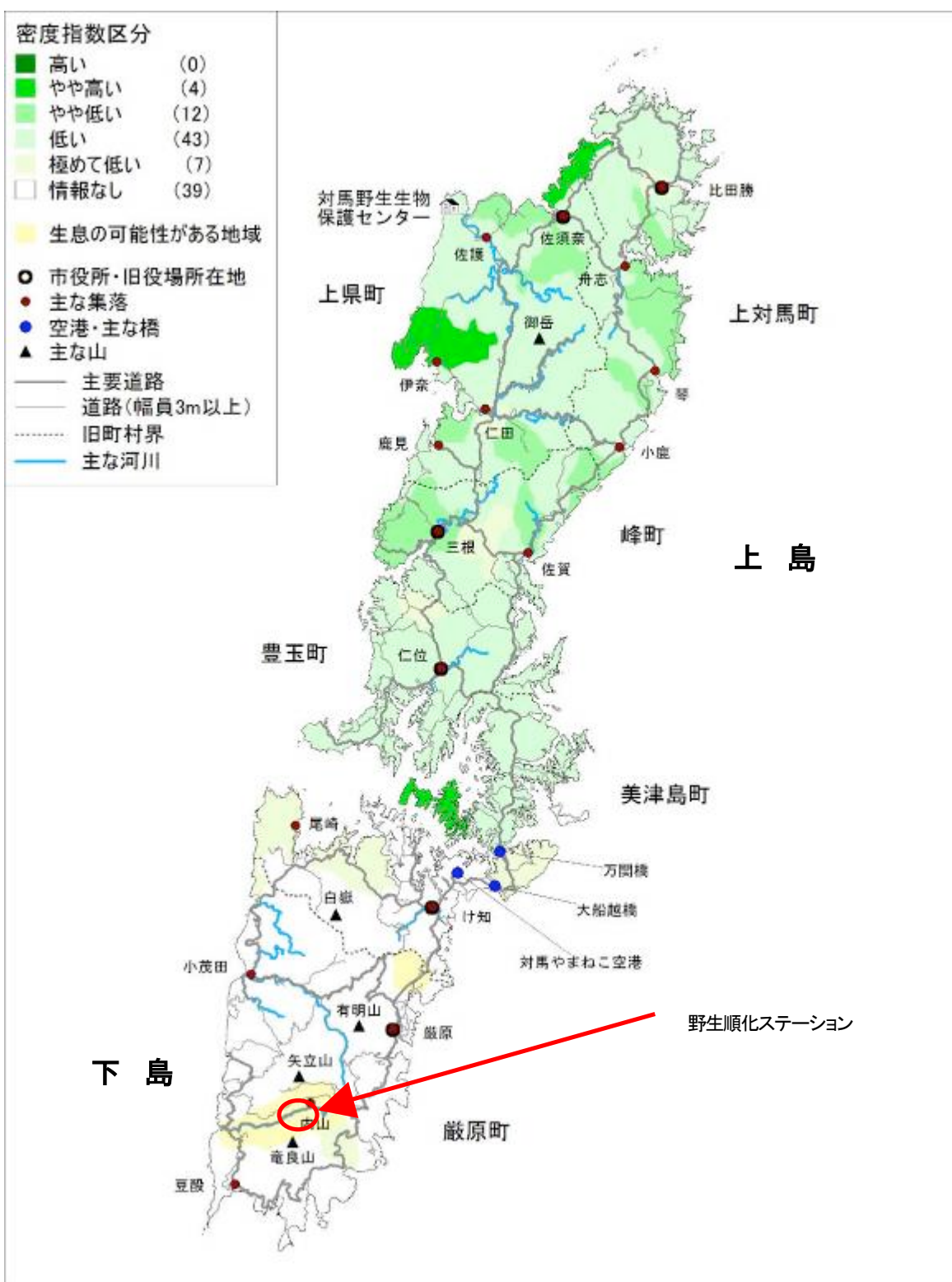
- ・ 平成 8 年より 5 頭の野生個体を確保し、平成 11 年より福岡市動物園の協力を得て飼育下繁殖を実施。平成 12 年に初めて繁殖に成功。
- ・ リスク分散のため、日動水の協力を得て 9 園で 31 頭を飼育。5 園で繁殖に取り組んでいる。
- ・ 平成 26 年に 5 年ぶりに繁殖に成功したが、飼育下個体群の高齢化が進んでおり、繁殖技術の向上や人工授精等の新たな技術の確立が必要。

6. 保護の取り組みの経緯の概略

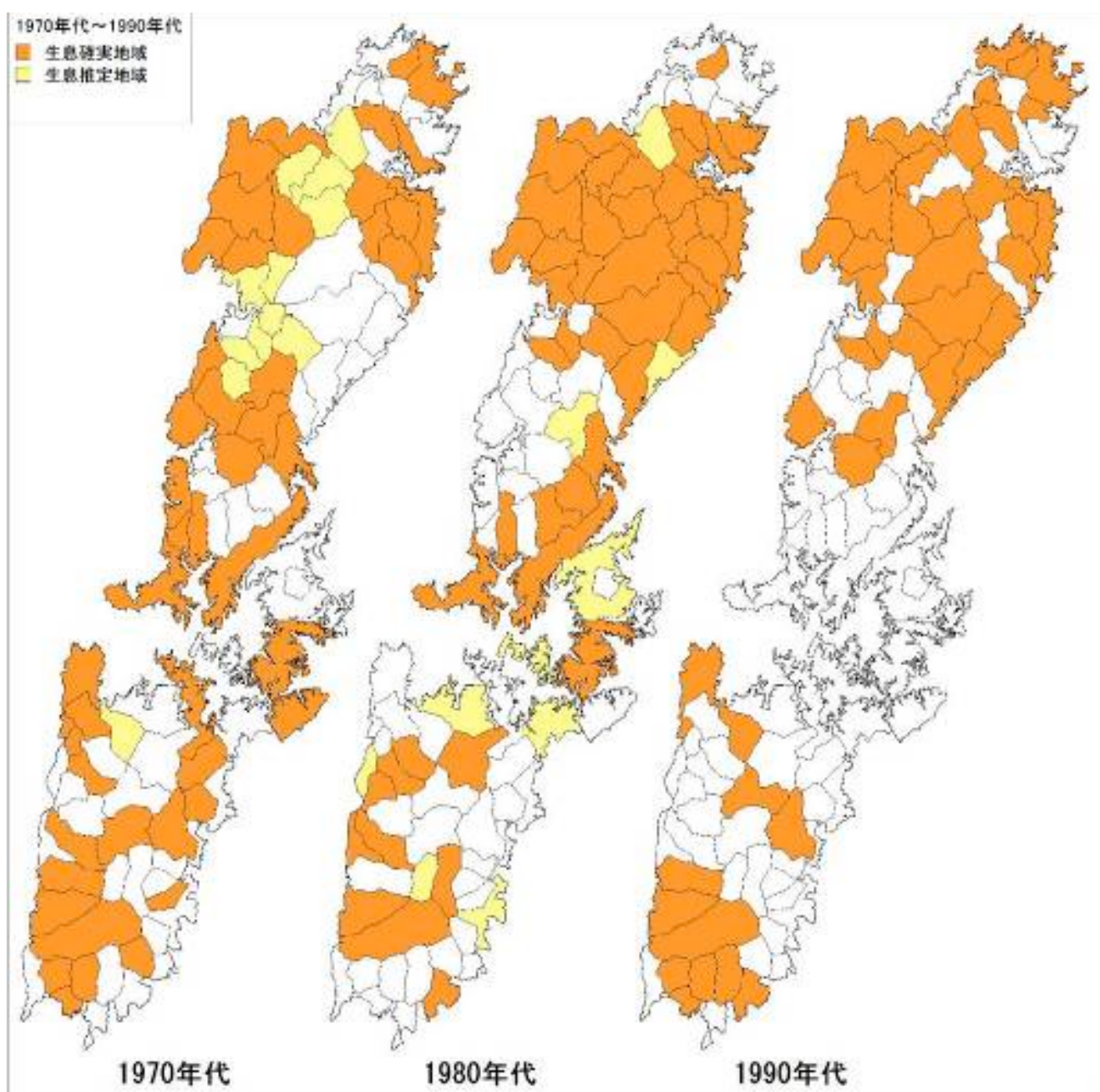
1949 (昭和 24) 年	非狩猟鳥獣とされる
1971 (昭和 46) 年	国の天然記念物に指定される
1985 (昭和 60) ~1987 (昭和 62) 年度	<u>ツシマヤマネコ生息環境等調査 (第一次調査) 実施</u>
1989 (平成元) 年	<u>長崎県対馬の生息地に国設伊奈鳥獣保護区 (1, 173ha) を設定</u> <u>生息状況のモニタリングおよび給餌事業に着手</u>
1994 (平成 6) 年	<u>種の保存法に基づく国内希少野生動植物種に指定</u>
1994 (平成 6) ~1996 (平成 8) 年度	<u>ツシマヤマネコ第二次生息特別調査 (第二次調査) 実施</u>
1995 (平成 7) 年	<u>種の保存法に基づく保護増殖事業計画を策定</u> <u>保護増殖事業を開始</u>
1997 (平成 9) 年	<u>対馬野生生物保護センター開所 (7 月)</u>
1998 (平成 10) 年	<u>レッドリストにおいて「絶滅危惧 IA 類」に分類される (6 月)</u>
2000 (平成 12) 年	福岡市動物園が飼育個体による繁殖に成功
2004 (平成 16) 年	<u>「ツシマヤマネコ再導入基本構想」を発表 (8 月)</u>
2005 (平成 17) 年	<u>ツシマヤマネコ生息調査 (第三次調査、2002~2004) 結果公表</u>
2006 (平成 18) 年	<u>「ツシマヤマネコ保全計画づくり国際ワークショップ」開催</u> ツシマヤマネコの飼育分散 (井の頭自然公園及びよこはま動物園) を実施。
2007 (平成 19) 年	下島において、23 年ぶりに生息を確認 (3 月)
2009 (平成 21) 年	<u>下島において、亜成獣を保護</u>
2010 (平成 22) 年	<u>「ツシマヤマネコ保護増殖事業実施方針」を公表 (3 月)</u>
2011 (平成 23) 年	<u>「ツシマヤマネコ野生順化施設基本構想」を策定 (8 月)</u>
2012 (平成 24) 年	<u>下島順化施設整備開始</u>
2013 (平成 25) 年	<u>ツシマヤマネコ生息調査 (第四次調査、2010~2012) 公表</u>
2013 (平成 26) 年	<u>保護増殖事業実施方針の改訂案、野生復帰技術開発計画の検討</u>

※下線は環境省実施事業

7. 生息密度分布図（第四次調査）

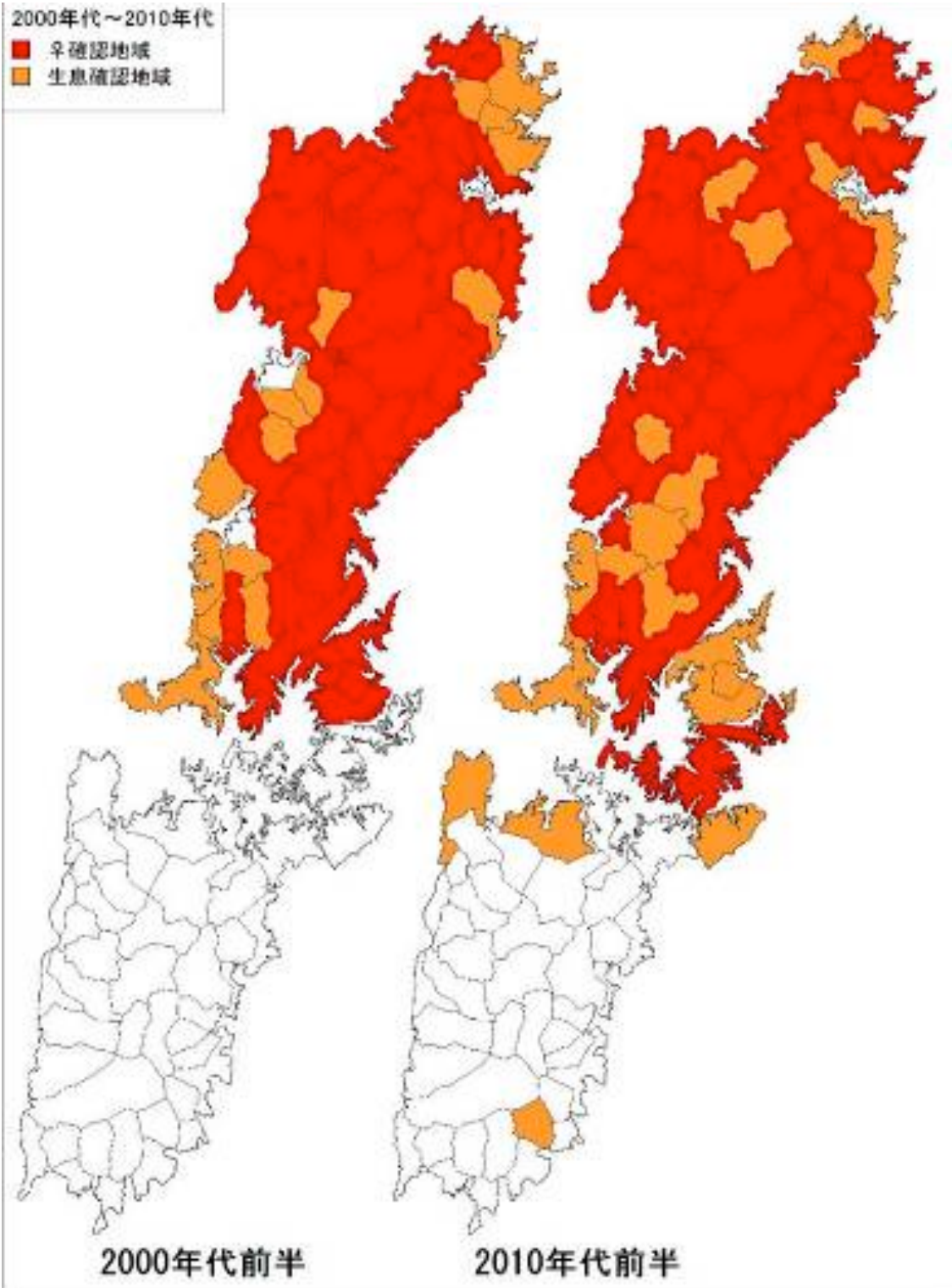


8. 分布の変遷



2000年代～2010年代

- 辛確認地域
- 生息確認地域



9. ツシマヤマネコ保護増殖事業実施方針の概要

